

災害名	熊本地震	災害年月日	1889年（明治22年）7月28日
主な被災地	熊本県熊本市	災害の種類	地震



マグニチュード	6.3
死者	20人（熊本県）

地震・津波

風水害

土砂災害

高潮

火山災害

その他

災害の概要

23時40分、熊本県西北部を震源とする地震が発生。
 熊本市を中心に半径20kmの範囲、特に金峰山麓で被害が大きく、福岡県柳川方面でも家屋被害があり、島原半島眉山で山崩れ起こる。
 死者20人、負傷者54～74人、家屋倒壊（全壊・半壊含む）366戸、地割れ（地裂）880箇所、堤防崩壊や橋梁崩落等の被害があった。

防災対策

○公共

- ・活断層図「熊本 改訂版」の概要（国土地理院）
https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/afm_kouhyou201710_kumamoto.html
- ・熊本市地震ハザードマップ（熊本市）
http://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=2121
- ・島原市防災ハザードマップ（島原市）
<http://www.city.shimabara.lg.jp/page2962.html>
- ・柳川市防災ガイドブック（柳川市）
https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/bosai/bosai/bosai_6389.html

防災対策

○熊本市地震ハザードマップ（地域危険度マップ（建物全壊率））（熊本市）

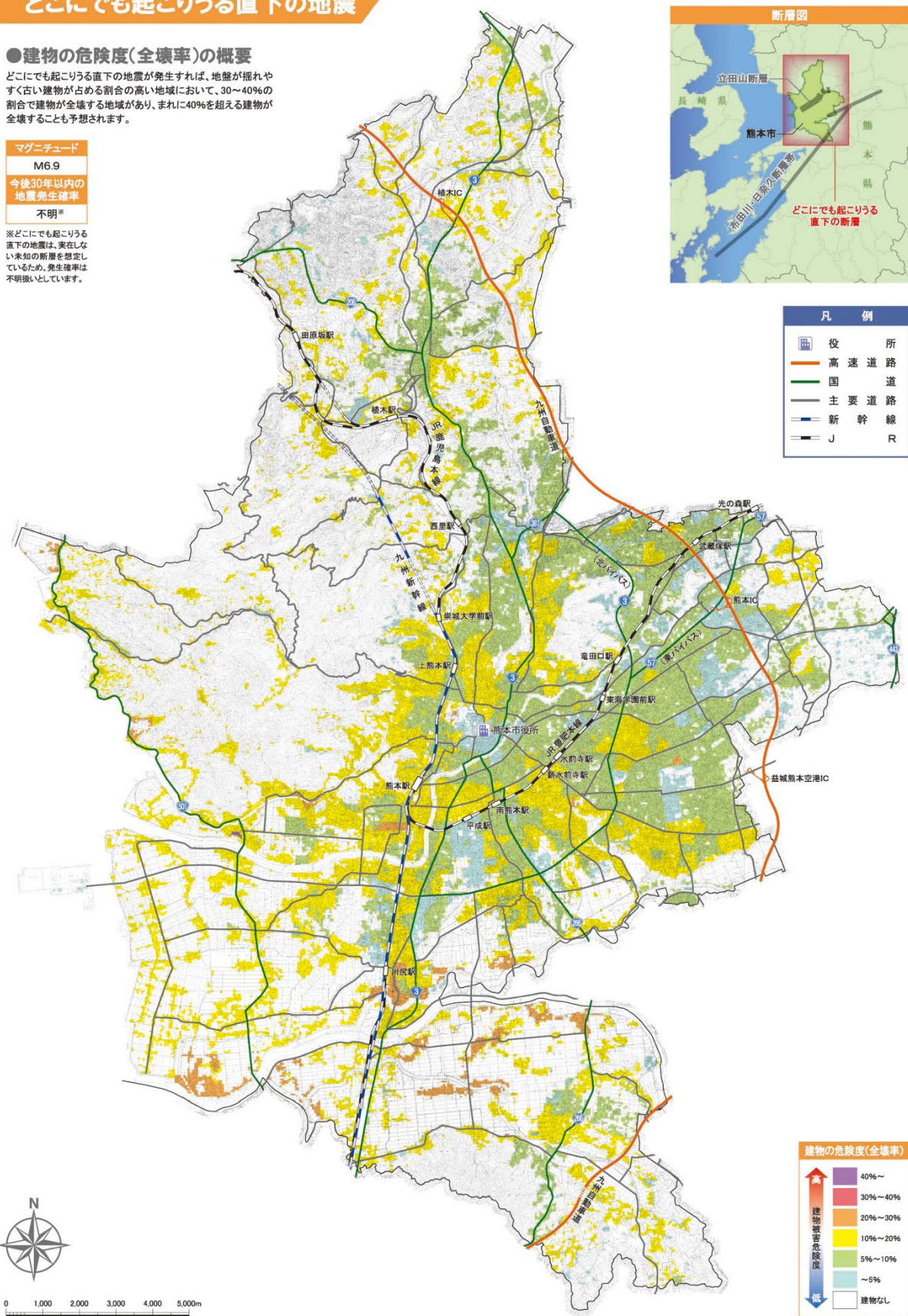
どこにでも起こりうる直下の地震

●建物の危険度(全壊率)の概要

どこにでも起こりうる直下の地震が発生すれば、地盤が揺れやすく古い建物が占める割合の高い地域において、30～40%の割合で建物が全壊する地域があり、まれに40%を超える建物が全壊することも予想されます。

マグニチュード
M6.9
今後30年以内の地震発生確率
不明*

*どこにでも起こりうる直下の地震は、実在しない未知の断層を想定しているため、発生確率は不明扱いとしています。



凡例	
	役所
	高速道路
	国道
	主要道路
	新幹線
	J R

建物の危険度(全壊率)	
	40%～
	30%～40%
	20%～30%
	10%～20%
	5%～10%
	～5%
	建物なし

地震・津波

風水害

土砂災害

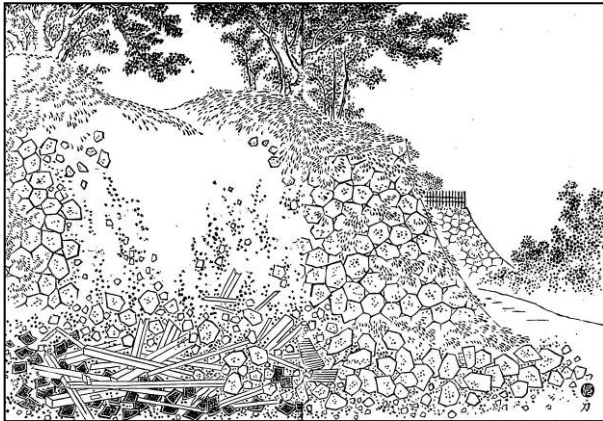
高潮

火山災害

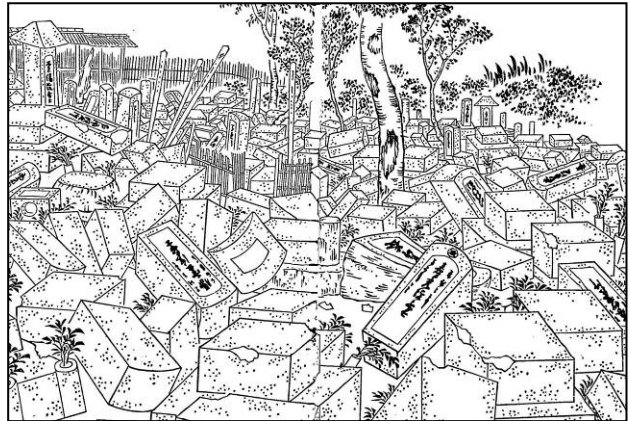
その他

資料 社会資本 状況写真 絵画 文献 その他

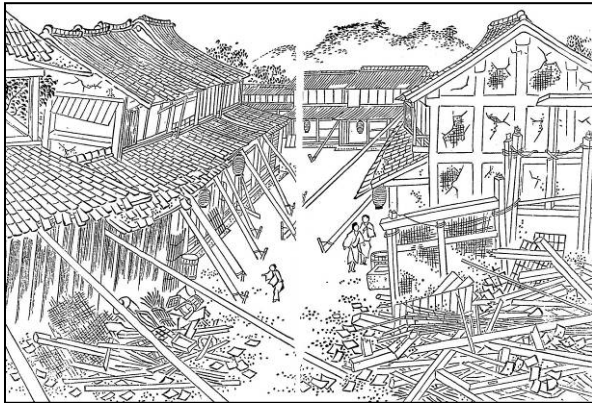
○絵画



▲旧熊本城西出丸第六師団火薬庫崩壊之図



▲熊本市大字東坪井見性寺境内墓碑顛倒之図



▲飽田郡高橋町字川端家屋崩壊之図

画像出典：「熊本明治震災日」水島貫之（1890年発行）
（国立国会図書館 近代デジタルライブラリー蔵）

○参考文献

- ・「理科年表H28年版」国立天文台編（2015年発行）
- ・「日本の自然災害500～1995年」日本専門図書出版（2010年発行）
- ・「熊本県災害史年表553～1997」熊本県消防学校（1999年発行）
- ・「地震・津波と災害」福岡管区气象台（1991年発行）
- ・「福岡の気象百年」福岡管区气象台編刊（1990年発行）
- ・「地震・津波と災害」福岡管区气象台（1991年発行）
- ・「福岡の気象百年」福岡管区气象台編刊（1990年発行）
- ・「熊本県の気象百年」熊本地方气象台（1990年発行）
- ・「九州の災害史」三浦幸一郎著刊（1987年発行）
- ・「宮崎県災異誌 西暦675～1965年」宮崎県（1967発行）
- ・「佐賀県災異誌（下巻）」佐賀県農林部（1952年発行）
- ・「熊本県災異誌」熊本測候所（1952年発行）
- ・「熊本明治震災日記」水島貫之（1890年発行）

○参考サイト

- ・「熊本明治震災日」水島貫之（1890年発行）（国立国会図書館 近代デジタルライブラリー蔵）
<http://kindai.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/766612>
- ・熊本地震（国立科学博物館地震資料室）
https://www.kahaku.go.jp/research/db/science_engineering/namazu/05sonota/kumamoto/kumamoto.html

地震・津波

風水害

土砂災害

高潮

火山災害

その他